

ときのあれこれ

Collection – ときコレ

(桜)

バラ科の落葉高木または低木で、スモモ、モモ、ウメなどの亜属を除いたサクラ亜属のものを一般に「桜」と呼びます。日本の花の代表として海外でも知られています。日本の山野にはヤマザクラなど約10種類を基本にして、変品種を合わせると100種ほどが生息し、これらから生まれた200～300種の園芸品種があります。

さて、土岐市にはいくつも桜の見所があります。仲森公園、土岐商業高等学校下の妻木川沿い、泉町久尻嵐山の桜の里、土岐川沿い、ひやり谷の休憩所、敷島公園などです。

それぞれ地域で大切にされ、美しい風景をゆっくりと眺められるスポットとなっています。

「桜」

特集 平成25年度予算

06 市政情報

織部の日記念事業のご案内

春の陶器祭り

景観計画・景観条例を施行します

スマートICが開通しました／各種保険料通知書の発送

医師確保奨学金の貸付／国民年金のご案内

国保人間ドック／病院職員募集／障がい者の軽自動車税減免／まちづくり事業補助金／ごみ袋の価格改定

12 情報ひろば／土岐市公民館だより

14 ときめきの瞬間

16 読者コーナー

17 土岐市教育夢・絆／給食センター掲示板

18 男と女のいきいきコラム／地域福祉を考える

19 健康ガイド

20 陶史の森だより

市長コラム

明るい気持ちで

春の日差しが心地よく感じられます。今年の冬は例年よりも寒かったこともあり、皆さんも春の訪れを心待ちにしていたのではないのでしょうか。日本の景気も長かった冬がようやく終わるのではと期待されています。株価の回復や行き過ぎた円高の解消などもあり、政府の経済見通しにも前向きな表現が見られるようになってきました。景気は「気」からともいわれていますので、人々の気持ちも前向きになり景気が良い方向に向かうことを期待します。

ところで、私たちは普段から「気」の付く言葉をよく使います。元氣、やる気など、気力気分が行動や考え方に与える影響が大きいことは、納得のできることでしょう。土岐市では今年になり、東海環状自動車道五斗時スマートインターチェンジの開通や元屋敷陶器窯跡出土品の重要文化財指定など、地元経済の活性化や文化・観光振興が期待できる明るいニュースが続いています。

今回の広報では平成25年度の事業と予算をお知らせしていますが、子育て支援や高齢者福祉、社会資本整備などそれぞれの事業は皆さんの生活に結び付いています。新年度も皆さんとしっかりと明るい気持ちになれるよう市政に取り組みたいと思います。

土岐市長 加藤靖也